

藤堂顕一郎 メモリアルコンサート



京都コンサートホール [小ホール]

平成8年**9月6日**(金) 午後6時30分開演

- 主催：京都音楽家クラブ
- 後援：(株) 藤堂製作所
- 協力：エラート音楽事務所





本夕のメモリアルコンサートを
故京都音楽家クラブ会長 藤堂顕一郎氏に
捧げます

京都音楽家クラブ理事長 高橋 恒治

何かとご多用の中にもかかわりませず、本メモリアルコンサートに多数ご来聴下さいました皆々様に心から厚く御礼申し上げます。またその趣旨に賛同し、ご出演いただきました方々並びにご後援下さった藤堂製作所の皆様、本当にありがとうございました。

時の流れは速いもので、藤堂顕一郎前会長のご逝去からもう一年経ちます。氏は藤堂製作所を創立されその発展に心血を注いでこられるとともに、こよなく音楽を愛し、ベートーヴェンの「第九」のソロ、ご自身のリサイタル、合唱運動、京都音楽家クラブの創設、藤堂音楽褒章基金の設立等、京都楽壇発展のため40年にわたり尽力してこられました。その播かれた種は、この京の地において脈々と力強く息づき成長しつつあります。

氏は生来豪放にして磊落、楽しいことの殊の外お好きな方でありました。そのお心を体して、このコンサートのプログラムを組みました。どうぞ最後までごゆっくりと氏を偲びつつお楽しみ頂ければ幸いと存じます。

 藤堂顕一郎メモリアルコンサートによせて 

(株) 藤堂製作所 藤堂 稔之

此の度京都音楽家クラブの皆様のご好意により父のメモリアルコンサートを開催して頂く事になりました。本日の開催に至るまで会場の設営、出演者への依頼、パンフレットの製作、進行次第などの全てをご企画頂きましたご努力に対し厚く御礼申し上げます。

また快くお引き受け頂きました出演者の皆様には暖かいご好意に心より感謝申し上げます。

父は音楽をこよなく愛していましたし、音楽仲間との交流を常に喜びとしておりました。

晩年には京都の音楽界の育成、発展を願うようになり、それが高じて藤堂賞を創設するに至りました。

これは公益信託事業でありますから、ご好意ある皆様のご努力により今後も続いて行くことと存じます。

今回のステージは賑やかなことが大好きな父にとって誠に嬉しいことに違いありません。私ども家族にとりましても大変光栄なことでもあります。

こういう場をご提供頂きました皆様方に対し、そしてご参加頂きましたご友人の皆様方に対し厚く御礼を申し上げます。

今宵は楽しくお聴き頂き、大いに拍手をして演奏会を盛り上げて頂きたく存じます。

PROGRAM

I. テノール独唱

福田 清美

ピアノ：長谷川美穂子

- F. ブーランク：陽気な歌
- | | |
|----------|--------------|
| 1. 浮気な恋人 | 2. 酒のすすめ |
| 3. マドリガル | 4. 運命の女神への祈り |
| 5. 酒の歌 | 6. 捧げ物 |
| 7. セレナード | 8. はつらつたる青春 |

II. マリンバ独奏

通 崎 睦 美

ピアノ：戎 洋子

- A. ビアソラ：天使の死 (野田雅巳編曲)
デリカシモ (啼 鵬編曲)
オブリヴィオン (野田雅巳編曲)

III. チェロ独奏

河 野 文 昭

ピアノ：河野美砂子

- C. サン＝サーンス : 白 鳥
J. ハイドン : 主題と変奏 ハ長調
F. ショパン : 序奏と華麗なるポロネーズ

***** 休 憩 *****

IV. ピアノ独奏

田 隅 靖 子

- J. シュトラウスⅡ世 : 演奏会用パラフレーズ「こうもり」(L. ゴドフスキー編曲)

V. 独唱と混声合唱

京都混声合唱団

指揮：蔵田 裕 行 ピアノ：宮北 昌子
ソプラノ：大西多恵子 テノール：尾形 光雄

- F. レハール：オペレッタ「微笑みの国」より
我々はスー・チョン殿下を待っている (テノール・合唱)
誰が私達の心に愛を送りこんだのだろう (ソプラノ・テノール・合唱)
君こそわが心のすべて (テノール)
わが故郷 (ソプラノ・合唱)

I. テノール独唱：福田 清美 ピアノ：長谷川美穂子

F. ブーランク：陽気な歌

- | | | | |
|----------|----------|----------|--------------|
| 1. 浮気な恋人 | 2. 酒のすすめ | 3. マドリガル | 4. 運命の女神への祈り |
| 5. 酒の歌 | 6. 捧げ物 | 7. セレナード | 8. 澆刺たる青春 |

ブーランクは数多くの声楽曲を書いたが、1926年に17世紀の作者不明の詩による、「陽気な歌」を書く。言葉は二重の意味に戯れ、ものの言いようはあからさまである。こうした点を含めて、曲はたえずきわめて軽快である。「浮気な恋人」では、歌い手は恋人の不貞をこれ以上あっけらかんとして歌えるものだろうか。「酒のすすめ」では、歌手は少々飲み過ぎの態となる。「マドリガル」は短い即興の戯れ歌だ。しかし「パルカ（運命の女神）への祈り」となると、詩も音楽もエロティックな二重の意味を秘めてくる。「酒の歌」は露骨な表現の極致であり、「捧げ物」は一幅の小粋な絵といったところ。「セレナード」は魅力的な牧歌だが、ただ歌い手としては二重の意味が分かっていなければならない。「澆刺たる青春」は名人芸的作品といえるだろう。（ピエール・ベルナック解説）



福田 清美 (テノール)

弘前大学卒業。

'84パリ・エコール・ノルマル音楽院首席卒。

フランス声楽名誉教授連盟国際コンクール1位他多数の国際コンクールに入賞。

'88～'89文部省海外派遣研究員（在パリ）。

'94藤堂音楽賞受賞。

長谷川美穂子 (ピアノ)

第21回学生音楽コンクール入賞、相愛大学ピアノ科卒、同研究科修了。

なにわ芸術祭新人賞受賞、日演連新人賞演奏会出演。

シューベルトピアノ曲リサイタル。

相愛大学講師。井口基成・片岡みどり氏に師事。

II. マリンバ独奏：通崎 睦美 ピアノ：戎 洋子

- A. ピアソラ : 天使の死 (野田雅巳編曲)
 デリカシモ (啼 鵬編曲)
 オブリヴィオン (野田雅巳編曲)

A. ピアソラ (1921～1992) は、アルゼンチン生まれのバンドネオン奏者、作・編曲家。

そのプログレッシヴな音楽活動から、タンゴの革命児、あるいは破壊者ともよばれた。

今日は、ピアソラ自身にとっても、中心的なレパートリーであった「天使の死」、スタイリッシュな雰囲気「デリカシモ」、そしてグラミー賞にもモニエートされピアソラ作品のなかでも一番美しいと称される「オブリヴィオン」、この3曲を演奏する。(通崎)



通崎 睦美 (マリンバ)

1992年京都市立芸術大学大学院音楽研究科を修了後、マリンバのソリストとして、作曲や編曲の委嘱を活発に行い、独自のレパートリーを開拓。異分野とのコラボレーションなど、従来の形にとらわれないコンサートを実践している。

'91NHK洋楽オーディション合格、京都芸大大学院賞、'93青山音楽賞受賞。

戎 洋子 (ピアノ)

相愛女子大学（現相愛大学）音楽学部卒業。歌曲、オペラ、室内楽などのピアニストとして活躍。

'77大阪府民劇場奨励賞受賞。'90神戸っ子ブルーメール賞を受賞。CD「モーツァルトの世界」「MUTSUMI」はじめ多数リリース。現在相愛大学講師。井口基成氏に師事。

Ⅲ. チェロ独奏：河野 文昭 ピアノ：河野美砂子

- C. サン＝サーンス ：白 鳥
J. ハイドン ：主題と変奏 ハ長調
F. ショパン ：序奏と華麗なるポロネーズ

「白鳥」は皆様ご存じの名曲、「動物の謝肉祭」の中の一曲。ハイドンの曲はヴァイオリンのための二重奏からの編曲で、主題と三つの変奏から成る。ショパンの数少ない室内楽から華やかでピアノも大活躍のポロネーズを最後に……。
(河野文昭)



河野 文昭 (チェロ)

京都市立芸術大学卒業、第50回日本音楽コンクール第1位入賞、ロスアンジェルス及びウィーンにて研鑽、帰国後毎年全国各地でリサイタル、協奏曲、放送、CD録音など独奏者として、また室内楽奏者としても多方面に活躍。'91より5年間にわたっての京都でのリサイタルシリーズは大きな反響を呼んだ。京都府文化賞、藤堂音楽賞等音楽賞多数受賞。黒沼俊夫、G. ライトー、A. ナヴァラの客各氏に師事。東京芸術大学助教授、京都市立芸術大学講師、「ゆ・いん音楽祭」音楽監督。

河野 美砂子 (ピアノ)

京都市立堀川高校音楽科を経て京都市立芸術大学卒業。ロスアンジェルス、ウィーン留学。帰国後、ソロ、室内楽を中心に演奏活動。'87淡路島国際室内楽コンクール優秀賞、'95第41回角川短歌賞受賞。京都市立芸術大学非常勤講師。

Ⅳ. ピアノ独奏：田 隅 靖子

- J. シュトラウスⅡ世 ：演奏会用バラフレーズ「こうもり」(L. ゴドフスキー編曲)

ヨハン・シュトラウスⅡ世作曲のオペレッタ「こうもり」の舞台は、ロシア貴族オルロフスキー邸での晩餐会。「夫婦の危機」と「シャンパンによる解決」を軸にくりひろげられるこのオペレッタの楽しさは、名ピアニスト、ゴドフスキーにも乗り移ったらしい。「こうもり」の中の愛らしく美しい旋律が、このバラフレーズのいたるところに散りばめられている。(田隅靖子)



田隅 靖子 (ピアノ)

フェリス女学院短大音楽科卒業。日本各地でリサイタルを、ドイツ、スイスにて数多く演奏活動を行い、ホフマン氏(ピアノ)と13回、ダム氏(ホルン)と5回の協演を行うなど、ソロとアンサンブルの両面で活躍。最近ではザグレブソロイストとのモーツァルトピアノ協奏曲など演奏。

CD「セザール・フランク ピアノ作品集」リリース。
井口基成、ピュイグーロジェ各氏に師事。'94藤堂音楽賞受賞。

V. **独唱と混声合唱**：京都混声合唱団 指揮：蔵田 裕行 ピアノ：宮北 昌子
ソプラノ：大西多恵子 テノール：尾形 光雄

F. レハール：オペレッタ「微笑みの国」より

我々はスー・チョン殿下を待っている (テノール・合唱)

誰が私達の心に愛を送りこんだのだろう (ソプラノ・テノール・合唱)

君こそわが心のすべて (テノール)

わが故郷 (ソプラノ・合唱)

「微笑みの国」は「メリーウィドウ」と並んでレハールの作曲したオペレッタの代表作である。これほど甘美な音楽は他にないと思われる程の美しい曲が全編に散りばめられている。北京のスー・チョン殿下と結婚するために中国に渡ったウィーンの伯爵令嬢リーザは、一夫多妻制の中国の風習を容認することができず、お互い愛し合いながらも別れることになるという筋書き。本来はドイツ語だが、今回は英語版によっている。



蔵田 裕行 (バリトン)

1956年京都市立音楽短期大学音楽科卒業。'61年東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。'65年同大学大学院音楽研究科修了。伊藤武雄、N. レーヴェ、中山悌一各氏に師事。ウィーン国立音楽大学オペラ科卒業、同オラトリオ科卒業。'68年、帰国。'87年藤堂音楽賞受賞。現在、京都市立芸術大学教授。音楽学部長、関西二期会常任理事。日本シューベルト協会常任理事。



大西多恵子 (ソプラノ)

京都市立音楽短期大学（現京都市立芸術大学）声楽科卒業，同専攻科修了，リサイタルの他，第九，ミサ曲，レクイエム等の宗教曲のソロ等数多くのコンサートに出演，各オーケストラ，各合唱団との共演も多い。現在，京都市立芸術大学音楽学部，京都市立堀川高校非常勤講師，日本シューベルト協会同人，関西二期会会員。



尾形 光雄 (テノール)

NHK大阪放送合唱団、大谷楽苑、京都ゲヴァントハウス合唱団を経て、ソロ活動に至る。大阪、京都、滋賀にてリサイタル7回。その他オペラ、レクイエム、ミサ、「第九」等のソリストとして活躍。関西歌劇団団員、京都オペラ協会会員、京都フランス歌曲協会会員。林達次氏に師事。'89年藤堂音楽賞受賞。株式会社藤堂製作所勤務。

宮北昌子 (ピアノ)

京都市立堀川高校音楽科を経て京都市立芸術大学卒業。故岩淵洋子、山田淳子、マックス・エッガーの各氏に師事。

京都混声合唱団

1926年京都在住の同声会（東京音楽学校、現東京芸術大学音楽学部同窓会）のメンバーを中心に結成され、戦時中一時中断したが、1945年にアマチュア合唱団としてスタートして今日まで70年の歴史を有している。団員の職業年齢は多岐にわたり、宗教曲を中心とした幅広いレパートリーを持つ。1975年から京都市交響楽団の協力を得て「マタイ受難曲」、ハイドン「四季」、ベートーヴェンの「ミサ・ソレムニス」などを演奏している。

